

臨床研究「小児期肝障害における肝生検検体の検討」について

筑波大学附属病院小児科では、標題の臨床研究を実施しております。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、下記までご連絡をお願い致します。本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究機関・研究代表者

筑波大学附属病院小児科 教授 須磨崎 亮

② 研究の対象

2001年4月1日～2016年3月31日に筑波大学附属病院小児科で肝生検を受けた16歳未満の方

③ 研究の目的

黄疸や肝障害などの肝臓の異常を呈する小児期肝障害において、病理検査時に余った肝臓の組織検体を使って転写因子やトランスポーターなどの発現に異常がみられるかどうかを免疫染色法や特殊染色法により解析します。また、併せて臨床像との関連を調査し、同じ様な病気の患者さんに対してより正確な診断やより良い治療方針の立案に役立てます。

④ 研究の方法

カルテなどで過去の診療記録を参照するほか、過去に肝生検で取得された肝組織の解析を行い、小児期に肝生検を受けた患者さんの実態調査をとりまとめる研究です。筑波大学附属病院臨床倫理審査委員会の承認下で行われます。

⑤ 個人情報

研究成果は医学の発展のために学術集会や学術論文で発表させて頂くことがありますが、患者さんに関わる個人情報は全て匿名化されて解析されますので、個人が特定されることは一切ありません。

⑥ 情報開示

開示希望やお問い合わせ頂いた対象患者さんには情報開示しますので、下記までご連絡ください。

⑦ 本研究に関するお問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学附属病院 成育支援室 所属・担当者：小児科 今川和生

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-853-5635（平日9時～17時）、FAX：029-853-8819